

第6 中長期計画 SHOYO NEXT 10YEARS [22-27 PLAN]

令和4年3月31日理事会・評議員会決議

SHOYO NEXT 10YEARS [22-27PLAN]

人々のために生きる
～求められ貢献できる人材づくり～



2024年(令和6年)に学校法人淀之水学院も創立100周年を迎えます。

建学の精神である「奉仕のこころ」および教育方針である「For Others」が体现できる

グローバルに求められ貢献できる人材の育成を目指しています。

さらなる飛躍と発展のため、本校の10年後(前期5年・後期5年)のあるべき姿を

中長期計画ビジョンとして策定しました。

 学校法人 淀之水学院

 昇陽中学校  昇陽高等学校

SHOYO NEXT 10 YEARS

策定にあたって



学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校
理事長・校長 竹下健治

ここに学校法人淀之水学院中長期計画「SHOYO NEXT 10YEARS」を策定する運びになりました。

本校は、2024年に創立100年を迎えます。長年にわたり、本校を支えていただいた方々に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

さて、本校は、建学の精神である「奉仕のこころ」、また教育方針である「For Others」の精神で世界の人のために生き、人々から求められ貢献できる人材の育成を目指してきました。たとえて言うならば、「一隅を照らす人」を育成したいと思っております。リーダーのあり方も時代と共に変化します。どんな環境であっても、人々と共にあり、人々を照らす存在になってほしい、そのような新しいリーダーを育成したいと思っております。そのために、今後も教育理念と教育方針を明確にし、それを確実に実行することで本学を継続・発展させたいと思っております。

しかし、昨今の私学を取り巻く環境は、たいへん厳しいものがあります。グローバル化や情報化の急激な進展、少子高齢化、日本経済の衰退など日本が抱える課題・問題は深刻で、教育環境に様々な影響を与えております。

特に、インターネットやAI（人工知能）の出現により、様々な仕事が機械に置き換わるだけでなく、高度な知的労働までAI（人工知能）に代替される日が来ると予想されます。求められる人材や教育のあり方も変わり、教育内容や方法に抜本的な革新が必要です。多様な価値を認め、正解のない問いに向き合い、自ら設定した課題に挑戦できる人材でなければ生き残れないかもしれません。そのような時代であるが故に、これからも高い理念と志をもち、将来の目標とそれに向けた改革をかせげ、たゆまぬ前進と挑戦が不可欠となるでしょう。また、そのような学び舎であるためにも学院の経営基盤の強化・安定も必要です。

この「SHOYO NEXT 10YEARS」は、その成長・発展の道しるべであるとともに、本学院が社会へ果たすべき責務であると思っております。学校の存在が、人々の幸せの基盤であり、人々の幸せに寄与することが、本学院の建学の精神を遂行することでもあります。「SHOYO NEXT 10 YEARS」策定により、今後、10年間で果たすべき目標と責務を示すとともに、皆様には今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

□ 学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校の責務

淀之水学院は、大正13年に創立され、以来およそ100年間大阪の地で実学を中心に教育を実践してきました。また、その市民精神を受け継ぎながら、社会に貢献できる人材育成を目指してきました。現在、日本は、少子高齢化や経済的な衰退など大きな転換期にあります。

これからも学校の使命を果たしながら、さらに将来の市民生活に活躍できる「知・徳・体」のバランスのとれた人材育成を行いたいと思っています。そのための基盤的な学力や健全な価値観やレジリエンス（やり抜く力）の育成を本校の責務としています。

また、私学ならではの先進的で独自性ある生徒育成を果たすために、生徒募集を維持・強化し学院としての経営基盤を確立する必要があります。

淀之水学院成長ビジョン

～世界で求められ貢献できる人材育成～



昇陽が育てたい力

- ① グローバル英語力と IT スキル (時代を生き抜く力)
- ② 主体的で論理的に考える力 (社会を生き抜く力)
- ③ 多様な価値観とレジリエンス (他者を認め、やり抜く力)
- ④ 寛容の精神と奉仕のこころ (「一隅を照らす人」)

□ 淀之水学院の理念

- 1 建学の精神 奉仕のこころ
- 2 教育方針 For Others～志高く～
- 3 校訓 清純・質実
- 4 校章 カトレヤ (洋蘭)

□ 淀之水学院の改革

改革1 健全で安定した経営を目指します

理事長、校長を中心とした各組織の下、ガバナンスが発揮され、学院全体として健全で安定した経営を目指します。また、その財政基盤となる生徒募集を強化するために、生徒育成の実績を上げ、生徒から入学したいと思われる魅力的で充実した学校を目指します。

改革2 時代の先進校を目指します

常に、先進で新しい教育プログラムを模索・実践し、ICT教育や情報教育をさらに充実させ、ハイブリッド授業や反転授業を一部導入して、学事暦の変更も検討します。また、地域や大学等と連携し、学外での学びを積極的に行い、イングリッシュ・キャンプや海外研修、海外姉妹校連携などの国際教育を推進します。このような中から、個々の生徒に対して個別最適化された教育を実践します。

改革3 生徒が学びやすく向上できる学校を目指します

朝のHRの朝学から放課後講習、土曜講習、長期休業日講習、進学合宿、放課後の自学自習と個別学習支援を柱とする「昇陽塾」まで、基盤的学力から応用的学力まで生徒の潜在的能力を伸長させ、自信や自己達成感を醸成させます。また、中学校・高等学校8コースの特色ある教育課程、体験学習、実習体験や学校行事や文武両道の各部活動などで「見えない学力(教養、論理力、発信力など)」やレジリエンス(やり抜く力)を育成し、面倒見がよく徹底して生徒育成にこだわる学校を目指します。

また、創立100周年記念事業として体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修など生徒にとって学びやすい学習環境とするために新たな施設・整備を行います。

□ 淀之水学院の約束

約束1 「For Others」の精神を育てます

本学の教育方針である「For others」の精神は、8コース全てに共通の理念であり、他者と共に生きるための資質・能力や健全な価値観やレジリエンス（やり抜く力）を育成します。また、「For Others」活動を推進し、主権者教育やSDGs教育を通じて健全なシチズンシップを育成します。そして、どのような状況や環境であっても、周りを照らす人、すなわち「一隅を照らす人」となり、他者を支える事のできるリーダーシップを育成します。

約束2 3つのフィールド、8つのコースで将来の夢に向かって、進路実現をサポートします

本校は、3つのフィールド（進学フィールド、文武両道フィールド、キャリアフィールド）が重なり、8つのコース（特進コース、進学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲコース、看護・医療系進学コース、保育教育コース、ビジネス/公務員チャレンジコース、ITフロンティアコース、パティシエコース、福祉コース）できめ細かく人材育成を果たします。

「人は輝くために生れてきた」のスローガンの下、「輝く進路実現」を目指しています。そのために、8コース編成を常に最適に改編し、先進の教育プログラムや熟練した教職員の支援の下、難関大学合格からキャリア実現まで将来の人材育成と生徒の進路実現を目指します。

コース名	進学	文武 両道	キャ リア	国 公 立 大 学	難 関 私 立 大 学	一 般 私 立 大 学	推 薦 入 試 （ ス ポ ー ツ 推 薦 含 ）	公 務 員	専 門 学 校	ビ ジ ネ ス	プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル ・ ビ ジ ネ ス
特進	○			●	●						
進学 進学Ⅰ	○			●	●	●	●				
進学Ⅱ		○			●	●	●				
進学Ⅲ		○		●	●	●	●				
看護医療系進学	○			●	●	●	●		●		
ビジネス/公務員チャレンジ			○			●	●	●	●	●	●
ITフロンティア	○				●	●	●		●		●
パティシエ			○		●	●	●		●	●	●
保育教育	○				●	●	●			●	
福祉			○			●	●			●	●

約束3 教職員は、各々の評価基準やコンプライアンスに基づいて職務遂行します

全ての教職員は、生徒育成を旨として、先進の教育を学び研修し、教職員各々の評価基準を目標として職務遂行します。また、本学の行動規範である「昇陽スタンダード」に従い、コンプライアンスを遵守します。

今後計画するアクションプランに対して、評価指標を設定し、そのエビデンスを基に、職務・業務を評価し、意思・行動決定します。

□ 評価指標

1 教育内容の質転換とグローバル対応

- ・英語の外部検定試験（英検、GTEC）
- ・海外留学、海外研修プログラムなど国際交流の促進
- ・高等学校基礎学力テスト等の分析・検討
- ・ICT教育事例やアクティブラーニング型プログラム件数

2 教員の指導力向上と進路指導の充実

- ・昇陽スタンダードの策定と改定
- ・校内・校外教職員研修件数
- ・「高大接続改革」「大学入試改革」への対応
- ・「新学習指導要領」への対応
- ・生徒のキャリアビジョン形成度
- ・国公立大学および最難関私立大学等への現役合格者数

3 昇陽で学ぶ

- ・昇陽中学校・高等学校の志願者数
- ・学校教育自己診断の生徒・保護者の学校満足度
- ・社会貢献や地域連携につながる取組み
- ・部活動の参加率
- ・教育環境の整備・充実

4 昇陽を守る

- ・財政基盤の確立
- ・防災教育とセキュリティ体制の確立
- ・既存施設の安全確認

□ 淀之水学院の歩み

これまでの歩み

大正 13 年 3 月 27 日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」設立 創立者吉川竹三郎
大正 14 年 2 月 21 日	高等女学校令による「淀之水高等女学校」設立認可され大阪市此花区西島町に校地を移転
昭和 19 年 5 月 2 日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任
昭和 23 年 4 月 1 日	大阪府知事より「淀之水高等学校」設立を認可
昭和 24 年 4 月 1 日	現在地(元 大阪市此花区嬉ヶ崎町一番地)に新校舎完成移転
昭和 26 年 3 月 8 日	財団法人淀之水高等学校を「学校法人淀之水学院」に組織変更認可
昭和 43 年 4 月 1 日	商業科を設置
平成 6 年 4 月 1 日	普通科に普通コース・英語コース、商業科に商業コース・情報コースを設置
平成 11 年 4 月 1 日	福祉科を設置
平成 16 年 4 月 1 日	商業科の募集停止
平成 16 年 4 月 1 日	普通科に総合(進学・一般)コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コースを設置
平成 17 年 4 月 1 日	普通科に特進・国際コース・標準コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置
平成 19 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・標準コース・パティシエコースを設置
平成 20 年 6 月 30 日	大阪府から城山キャンパスグラウンドの土地 9,255 m ² を購入
平成 21 年 4 月 1 日	大阪府知事より淀之水学院昇陽中学校設立を認可され開校
平成 22 年 4 月 1 日	学校名を昇陽中学校、昇陽高等学校に変更
平成 22 年 4 月 1 日	普通科の特進・標準(進学)コースのみ男女共学
平成 23 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・進学コース・パティシエコース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置
平成 23 年 4 月 1 日	大阪府から城山キャンパス体育館・校舎の土地 20,109 m ² を購入
平成 24 年 4 月 1 日	高校全コース男女共学
平成 27 年 3 月 30 日	東館(3,587 m ²)竣工
平成 27 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置
令和 2 年 1 月 30 日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656 m ²
令和 2 年 4 月 1 日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200 m ²
令和 2 年 4 月 1 日	普通科に I T フロンティアコース、進学Ⅱ・Ⅲを設置
令和 2 年 12 月 16 日	南西館耐震改修工事完了
令和 3 年 1 月 22 日	城山体育館耐震改修工事完了
令和 6 年	淀之水学院 創立 100 周年を迎える